

ひらた新聞

Vol. 19
2004.2.15号



花粉をよく
かきこむ。



そろそろ花粉症の季節です。花粉症はある家の中に花粉を持ち込まない工夫をしまし
除機、雑巾を使ってすみずみまでよくよく花粉を払ってからとりこむ。外出する時、マスクでは2/3の人が、メ
った」と言っています。医師の治療・薬
かった☆毎日続けて良かった☆自分に合
♪ひらた医院では、花粉症の検査・治療を

程度予防することが出来ます。
しょう。☆窓やドアは開けっ放しにしない☆掃
掃除をする。☆洗濯物や布団を干した時は、
の際にはメガネ・マスクをしましょう。外
ガネでは1/3の人が「着けていて効果があ
の助けも加えて快適に☆早くからのんで良
う薬が見つかった…などの声があります。
行っています。お悩みの方はご相談ください。

実際の内視鏡室で、模型を使つての胃カメラ・大腸カメラの実際をお見せします!! めったにない機会です!
★ 内 視 鏡 (胃 ・ 大 腸 カ メ ラ) 見 学 会 ★
☆2月22日(日) 11時～ ひらた医院内 内視鏡室にて 参加費：無料

胃・十二指腸潰瘍:
【症状】空腹時の胃痛・焼けるようにみぞおちが痛み、重たい感じ。吐き気、嘔吐、食欲不振など
【原因】●バランズ説：胃酸、ペプシン(タンパク分解酵素)など胃の組織を攻撃する因子と、胃粘膜血流、胃粘膜など胃の組織を防御する因子の両方の均衡が破綻した時に潰瘍が発生すると考えられます。●環境因子：喫煙は胃酸分泌を亢進させることに加え、胃粘膜血流を減少させ、潰瘍に対しては悪影響のみをもたらす。また、ストレスも小さな血管の血液循環が悪くなり潰瘍が発生しやすくなります。●遺伝因子：近親者に胃・十二指腸潰瘍のいる方は、潰瘍の罹患率が高いと言われている。●細菌感染：ヘリコバクターピロリという細菌が、胃・十二指腸潰瘍の発生および再発因子として注目されています。
【検査】バリウムによる胃X線検査、胃内視鏡により診断します。
【治療】●出血・穿孔・幽門狭窄などの合併症がある場合は入院が必要です。又、出血に関しては内視鏡を使って直接出血点に注射をして止血します。●薬物療法としては制酸薬、粘膜保護薬を投与します。しばらくの間は再発を起こしやすいので医師の指示があるまできちんと薬を飲み続けましょう。●外科的治療は潰瘍からの出血が内科的にコントロールできない場合や穿孔に加えて幽門狭窄が生じた場合に行うことがあります。
★ 喫煙・飲酒・コーヒは控えめに、規則正しい食生活を心がけましょう。また、仕事上、家庭内でのストレスを除き、過労を避けましょう★
♪ ひらた医院では毎日、胃内視鏡を行っています。ピロリ菌検査も同時に行っています ♪♪♪

定期的な検査をお勧め致します
定期的に全身をチェックすることは健康管理のために必要です。当医院では病気の早期発見・早期治療はもちろんのこと、予防医学・健康増進医学に力を入れています。皆様の健康の維持・増進のお手伝いができれば幸いです。お気軽にご相談ください。
当医院では健康チェックに必要な検査を毎日行っています。
★詳しくはスタッフまで★

★お知らせ・訂正があります
…整形外科診療日…
2/19(木) 2/28(土)
いづれも15時半～です

★ヘリカルCT検査予定日★
2月24日(火)
9時～です
詳しくはスタッフまで

ひらた医院
胃腸科・肛門科・内科・外科
〒870-1143 大分市田尻 478
☎097-548-7616
✉info@hirataiin.com
☑http://www.hirataiin.com/
診療時間：9時～18時
休診：日曜・祝日・木曜午後
急患：24時間対応しています